

令和4年度幼稚園評価表

学校法人 浄暁学園 朝里幼稚園

教育理念	建学の精神 「尊いみ教えを信じて 仏の子を育てよう」 教育の目標 <ul style="list-style-type: none"> 一.いのちの尊さを知る(生命尊重) 人はもちろん、花や虫の素晴らしい生命に目覚め、物を大切にすることを養う 一.最後までやり遂げる(精進努力) すこやかな体と心で落ち着いて物事をやり遂げる子を育てる 一.感謝する心(報恩感謝) 自然の恵みや回りの人にありがとうと言える子を育てる
------	---

◆記入方法

A～Dの4段階評価です。該当する欄に○をつけてください。

項目の☆がついている欄は正職員のみ記入をしてください。

項目ごとに、良かった点や改善策を記述してください。

項目	内容	評価				良かった点や改善策等
		A	B	C	D	
保育の計画性	園の教育理念や教育方針を理解している	○				
	幼稚園教育要領を理解している	○				
	保育の計画は、教育要領、園の教育課程、幼児の実態をもとに考えて作成している ☆	○				
	保育の計画は、幼児の興味や関心、これまでの生活や様子、予想されるこれからの生活などを考慮して作成している ☆	○				
	保育の計画は、子どもの実態に合わせて自由に変更できるような柔軟性のあるものになっている ☆		○			
	安全で清潔感のある環境を構成している		○			
	保育の計画に基づいて、幼児が主体的に関わりたくなるような環境構成をしている		○			
	遊びに必要な遊具や用具、素材などを質・数量を配慮して用意している	○				
	幼児の目線、導線に配慮したり、幼児の活動が豊かになるように、活動の展開に応じて環境を再構成している		○			
	幼児の発想を柔軟に取り入れたり、季節の変化に応じた環境構成をしている		○			
自分の保育と計画の評価・反省について次の保育と計画に生かせるように行っている		○				
保育の在り方、幼児への対応	朝の登園時は特に視診を大切にして、子どもの体調が悪くないか確かめている	○				

項目	内容	評価				良かった点や改善策等
		A	B	C	D	
保育の在り方、 幼児への対応	怪我や事故などには特に気を付け年齢に応じた適切な環境構成や言葉がけを行っている	○				
	万一事故やけがが発生した場合は、主任や園長に報告をし、保護者に連絡をとり、医師に見てもらするなど適切な処置を行っている	○				
	園内に危険な個所がないかどうか、危険な遊び方はないか、活動が年齢や能力に対して危険でないかを常に観察をしている	○				
	危険の予測される場合には、幼児と一緒に見たり考えたりして、安全な使い方や遊び方について気づくことができるようにしている		○			
	クラス内の水道付近の清潔や、換気、採光、室温などに気を付けている		○			
	トイレの清潔やトイレの使い方について配慮し、幼児にも正しい使い方を示している		○			
	幼児の話をよく聞いたり、言葉にならない思いやサインを受け止めるようにしている		○			
	見えないところで活動している幼児についてもある程度その活動の様子を推察することができる		○			
	ひとりの幼児をじっくりと見ながら、周囲にも目を配ることができる		○			
	個々の幼児の発達の姿や課題について、見通しをもって理解できる		○			
	幼児同士の関わりの姿をとらえることができる		○			
	幼児の思いを把握して、寄り添いながらかわっている	○				
	保育者らしい品位ある言葉、正しい日本語の用法を心掛けている		○			
	善悪の判断、いたわり、思いやりなどの道徳性を培う上でも見本となるようこころがけている		○			
	幼児が遊びを深めていくためのヒントやアイディアを提供している		○			
	幼児の年齢に応じたわかりやすく聞き取りやすい語り掛けをしている		○			
	禁止・命令・行動を急がせたり、自信を失わせる言葉や態度はしていない	○				
	クラスに関係なく、その場にいた保育者が適切な言葉がけや対応をしている		○			
	幼児のことについて常に保育者同士で話し合い、クラス学年を超えて情報を共有している		○			
	配慮を必要とする幼児については、園の教職員全体で特に話し合い、共通理解をもって対応している	○				
幼稚園教諭として専門知識や技能を身につけている		○				
高度な専門知識や技能を身に付けようと研修をしている	○					
保護者に対し、幼児のことや保育についてわかりやすく話すことができ、保護者との信頼関係をつくるよう努めている	○					
仕事の手順を考え、効率よく行っている		○				

項目	内容	評価				良かった点や改善策等
		A	B	C	D	
保育者としての資質や能力・良識・適正	保育時間外でも、保育者としての誇りと自覚をもった言動を心掛けている	○				
	幼児や保護者との対応には公平さを欠かさないようにしている		○			
	園の消耗品や備品は節約して使い、次に使う人が使いやすいようにする		○			
	服装・髪型・身だしなみなど清潔感のあるものを心掛けている	○				
	自らの健康にも配慮し、爪が伸びていないかなど保育をする上での安全性にも気を付けている	○				
	職務上、知り得た情報などの秘密を守っている	○				
	園の書類の取り扱いには、十分に注意して取り扱っている	○				
	教材・遊具の管理、点検に気を配っている	○				
	クラス内はもちろん、園内外の清掃や整理整頓を実行している		○			
	現金の管理は間違いのないようにしている	○				
	締切のある提出物は締切日をきちんと守っている	○				
	教職員や園の批判を軽はずみにしていない	○				
	教職員全員でチームであることを意識している	○				
	会議や打ち合わせは時間を厳守している	○				
	子どものこと、クラスのことが必要なことは主任に報告、相談をしている	○				
	保護者への対応	クラスや子どもの様子、自分の考え方、保育のポイントなどをクラス便りなどで知らせている ☆	○			
個々の子どもの様子は電話連絡や個人懇談などで伝えあっている ☆		○				
自分の考えをきちんと話し、保護者の話しを心を聞いてよく聞く		○				
必要に応じて、写真などでわかりやすく伝える工夫をしている			○			
保護者からのさまざまな訴え、要望・意見については、安易に受けたり断ったり無視したりしないで主任や園長に報告や相談を行っている		○				
保護者、幼児などの個人情報の管理については園の方針に従っている		○				
長期の欠席や入院などの場合は見舞ったり、園やクラスの様子を伝えたりしている			○			
保護者からクレームがあった場合は、まず謙虚に主任や園長に報告、相談をしている		○				
クレームの内容によっては教職員全体で検討し共通理解の上で対処している		○				

項目	内容	評価				良かった点や改善策等
		A	B	C	D	
地域の自然や社会との関わり	地域の人々と親しく挨拶や会話を交わしている	○				
	地域の自然や主な施設の場所、交通機関、主な行事などについてある程度理解している		○			
	小学校の教育内容について理解しようとしている			○		
	卒園した子の情報を得るようにしている		○			
	地域の小学校の行事や公開事業に関心をもっている		○			
	園で実施をしている子育て支援事業について、具体的な形や内容を理解している			○		
研修と研究	研修会や研究会には自己課題をもって進んで参加している		○			
	自分の保育のあり方や悩みについて他の先生方と話し合っている		○			
	子どものみとりとその内面理解について研究 研修を行っている		○			
	指導とかかわりのあり方について研修・研究を行っている		○			
	園の遊具や教材についてその特徴や基本的な使い方を知っている	○				
	園の遊具や教材について子どもはどんな使い方をするのか予測できる	○				
	園の遊具や教材についてどのような使い方が危険かわかる	○				
	園の構造(平屋 2階建て)や保育室・遊戯室の位置大きさなどが持つ特質が、幼児にとってどのような教育的な意味をもつかについて理解している		○			
	園地 園庭の樹木や草花の名前、季節による変化などを理解し、保育に生かしている		○			
	アレルギー、自立の遅れなど最近多くみられる問題について理解している		○			
	障がいのある幼児に対する保育のあり方を学習している		○			
	幼小連携についてその意義やあり方について研修 研究をしている		○			
	危機管理について、現状やあり方について研修 研究している		○			

し

保育の計画性

- クラスの様子、個人の興味に合わせて環境や保育を設定してきた。
- 自分のクラスだけではなく、隣のクラスとも連携をとって活動した。
- 保育後に毎回反省や振り返りを行っていた。
- 子ども達の様子や力量に合わせて保育計画をし、子ども達の動線や安全性を考慮して環境を構成し、その都度直したりすることができた。
- 子育て支援での親子や未就園児に対しての保育のため基本的な保育は計画しているが、その時の子どもの状況や動きに合わせての保育になることが多い。臨機応変の保育になるため、今後も柔軟性を持って保育していきたい。

保育の在り方・幼児への対応

- クラスの状況や大変さがなかなか他の保育者に伝わらない事があった。他のクラスへの興味関心を持ち、共有する為もっと話し合いが必要。
- 怪我の対応は素早く報告、対応ができた。
- 子ども達と一緒に適切な行動や遊び方を考えるように保育を行い、子ども達も少しずつ考えられるようになった。
- 配慮が必要な子は、補助の先生や療育機関との連携を図り、保育に活かす事ができた。また、援助方法や行事の取り組み方等他の先生たちに助言をいただき、チーム保育を行う事が出来た。
- 視診ばかりではなく、挨拶をすることで声を聞き、体調を確かめた。

保育者としての資質や能力・良識・適正

- 衛生面は、社会状況を踏まえて特に配慮するように心がけた。
- クラスの事や子どもの事等、主任、副園長、園長に相談したり報告する事が出来ていた。
- 日々環境が変化する冬期間は、もっと気を付けて子ども達が過ごしやすい環境をつくっていきたい。
- 係の仕事をする事が多く、行事についてよく理解することが出来た。自分が主になって考えたり原案を考えることで身に付いたことが多い。

保護者への対応

- クラスで普段の子どもの様子や家庭で協力してほしいこと、保育のねらい等を書けていた。
保護者からの意見や要望は職員間で話合った。
- 参観日やバス添乗等、保護者対応の場は限られていたが、内容は担任と必ず共有するよう心掛けた。

地域の自然や社会との関わり

- コロナウイルスの影響で、地域交流がなかなか出来なかった。
今後老人ホーム等との交流が出来ると良い。
卒園児の行事を見に行く事も出来なかったため、情報を知る機会が少なかった。
- 園外保育の際、地域の方々に挨拶が出来ていた。

研修と研究

- 研修内容が興味深いものが多く、勉強になった。
実際に保育で実践出来て良かった。
- 研修会に参加する機会が少なかったが、後からオンライン視聴が出来る機械があり、他の園の様子を見ることもでき、学べたので良かった。
- 新しい情報にも目を向け、今の世の中に合わせた保育も考えていく必要があるようにも思われる。
- 保育や指導の仕方について他の先生方に相談し、アドバイスを頂きながらよりよいものになりよう努めた。その都度反省し、改善できるようにした。
今後もさらに保育のあり方について向上心を持って取り組みたい。